

平成26年度試験採用パーマネント研究員募集要領

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）では、標記職員の募集を行っています。

この試験採用は、従来の博士号取得者を対象とした任期付研究員とは異なる考え方で行うものです。農業現場が求める生産性向上などのイノベーションを誘発する技術開発には、専門性を深めたスペシャリストだけではなく、要素統合によって課題解決にチャレンジするアグロノミストが必要です。このため、農業・食品産業に関する諸科学について基礎的・基本的素養を持つ若手をパーマネント研究員として採用し、農研機構が独自にアグロノミストとして育成します。

今回の採用予定ポスト、募集条件、試験採用試験要領は下記のとおりです。

記

採用予定の研究所（勤務地）・研究領域および研究課題

別表のとおり。ただし選考・採用は農研機構全体で一括して行います。

応募条件

- ①昭和62年4月2日以降生まれで大学卒および大学卒業見込みの者（もしくは同等以上の学力を有する者）。
- ②アグロノミストを目指して研究業務にチャレンジできる能力が認められるものであれば、農学の専門分野を問いません。
- ③農研機構の全国各地に所在する研究所（センター）のどこでも勤務可能で、複数回の異動を厭わない者。
- ④海外の研究者と英語でのコミュニケーションができる語学力を有すること。
- ⑤国内外の農業支援や震災被災地でのボランティア活動など、社会貢献活動の経験を有することが望ましい。
- ⑥国籍は問わないが、日本語による円滑なコミュニケーションが可能である者。日本国籍を有していない場合は、採用予定日までに日本国内で就労するために必要な留資格を取得すること。

*受験の欠格事由

次のいずれかに該当する者は、採用試験を受けることができません。

- ①成年被後見人又は被保佐人
- ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者。

採用予定日 平成26年4月1日

エントリー

リクナビ 2014 (<http://job.rikunabi.com/2014/company/top/r327150042/>) よりエントリーをお願いします。

選考プロセス

エントリーシート受付 平成25年5月下旬～8月31日

(エントリー受付締切までに TOEFL、TOEIC、英検等の英語力をはかる試験のスコア等を提出すること。)

エントリーシート選考	平成 25 年 9 月上旬
一次面接・論文	平成 25 年 10 月上旬(茨城県つくば市)
一次面接・論文合格発表	平成 25 年 10 月下旬
二次面接・論文	平成 25 年 11 月中旬(茨城県つくば市)
最終合格発表	平成 25 年 12 月上旬

現時点では上記の採用スケジュールを予定していますが、選考状況により変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

育成方針

各研究所に配置する育成担当者の指導の下で、関連するプロジェクト研究等において、現地試験の一部を担当させることで、生産現場の問題認識能力を高めさせます。その上で、現場の問題を各分野の研究者・県の担当者・生産者等と一体となって解決する研究プロセスを経験させながら、生産現場のニーズを的確に捉え、多角的なアプローチで解決する素養を醸成し、アグロノミストとして育成します。また、圃場試験の結果を学術論文としてとりまとめる方法論を習得させ、博士号を取得させます。

研修・留学制度

通常の研修（新人、科学コミュニケーション、統計、産学官連携、知財財産、企画広報等）に加え、先進的農業者のもとで研修を行います。また、希望者は選考の上、海外の大学のアグロノミー関連研究室へ留学の機会を与えます。

勤務時間

裁量労働制（みなし労働時間 8 時間 24 分）が基本

給与

大学新卒の場合:月給 194,800 円～ 218,100 円

勤務地等により決定

（国の要請による減額措置は平成 26 年 3 月まで。当農研機構の給与規程による）

昇給 年 1 回

賞与 年 2 回(期末・勤勉手当)

その他諸手当

扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当

休日・休暇等

完全週休 2 日制(土・日)、祝祭日及び年末年始、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇(夏季、結婚、出産、忌引等)、育児休業、介護休業

福利厚生

農林水産省共済組合加入(短期:病気等の給付/長期:年金給付)、雇用保険、労働者災害補償保険

問い合わせ先

- ・(独) 農業・食品産業技術総合研究機構本部 総合企画調整部
 - メールによる問い合わせ saiyoh@naro.affrc.go.jp
 - 青木 法明 (主任研究員) Tel: 029-838-7947
 - 中島 隆 (研究管理役) Tel: 029-838-7695

(別表) 採用予定の研究所(勤務地)・研究領域および研究課題

	採用予定研究所 (勤務地)	人数	研究領域	研究課題
1	中央農業総合研究センター (茨城県つくば市)	1	生産体系 研究領域	水田輪作体系におけるダイズの生産性向上技術の開発
2	野菜茶業研究所 (茨城県つくば市)	1	野菜生産技術 研究領域	水田輪作体系における露地野菜の生産性向上技術の開発
3	北海道農業研究センター (北海道札幌市)	1	水田作 研究領域	水田輪作体系におけるイネ・ムギ・ダイズ等の生産性向上技術の開発
4	東北農業研究センター (岩手県盛岡市)	1	生産基盤 研究領域	水田輪作における生産性向上技術の開発
5	近畿中国四国農業研究センター (広島県福山市)	1	水田作 研究領域	水田輪作体系におけるダイズの生産性向上技術の開発
6	九州沖縄農業研究センター (福岡県筑後市)	1	水田作・園芸 研究領域	水田輪作体系におけるムギの生産性向上技術の開発
7	九州沖縄農業研究センター (宮崎県都城市)	1	畑作 研究領域	畑輪作体系における露地野菜の生産性向上技術の開発